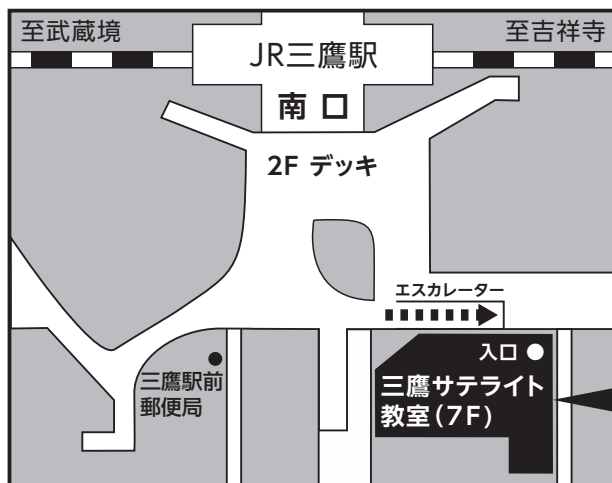


『織田信長文書を読む』

受講料 (振込額)	7,500円				
必携テキスト	—————				
講座概要	曜日	金曜日		日程 4月26日 5月24日 6月21日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全3回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	歴史作家・本学政治経済研究所客員研究員 桐野 作人 (きりの さくじん)				
	歴史関係の出版社編集長から独立。主な著書に『織田信長—戦国最強の軍事カリスマ—』『だれが信長を殺したのか』『関ヶ原 島津退き口』『さつま人国誌』戦国・近世編1～3『薩摩の密偵 桐野利秋』2019年、『龍馬暗殺』で第29回高知出版学術賞特別賞を受賞。				
内容	今回から天正6年(1578)に入ります。信長の生涯でも充実していた時期です。まず年初に長年の盟友ながら敵対関係になった北陸の雄、上杉謙信が死去しました。これは一向一揆の勢力が強い北陸戦線に大きな変化をもたらしました。さらに中国方面では、織田政権に逆風が吹き、これまで服属していた播磨の別所長治が離反して、羽柴秀吉が対応に追われます。中国方面の平定を担当していた秀吉は自らの失態と考えて、朝廷より下賜されていた「筑前守」の官途をいったん返上するほどでした。そして、大坂本願寺との戦いはひとつの分岐点を迎えることになった第2次木津川沖海戦となり、織田方の九鬼水軍が毛利水軍を撃破します。勝因は「鉄張船」だったのか？				
	<ul style="list-style-type: none"> ① 4月26日：上杉謙信の死去と信長の辞官 ② 5月24日：別所長治の謀叛—安土城天主倒壊？— ③ 6月21日：第二次木津川沖海戦—鉄張船はあったか？— 				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。